

令和7年度

調査名 薄根川本流(川場湯原)地区災害関連緊急事業測量・設計業務

場所 群馬県利根郡川場村大字川場湯原字川場谷国有林24は1林小班

所轄事務所等
関東森林管理局
利根沼田森林管理署
本署

業務費内訳書

薄根川本流(川場湯原)地区災害関連緊急事業測量・
設計業務

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
直接測量費(安全費・電子成果品費・成果検定費除く)	式	1				
溪間工測量	式	1			1号明細書 3頁	
旅費交通費(基準日額)	式	1			2号明細書 4頁	
旅費交通費(交通費、宿泊費)	式	1			3号明細書 5頁	
安全費	式	1				
電子成果品作成費	式	1				
直接測量費	式	1				
間接測量費	式	1				
諸経費	式	1				
測量業務価格	式	1				
直接原価(電子成果品作成費・業務成果品費除く)	式	1				
溪間工設計	式	1			4号明細書 6頁	
旅費交通費	式	1			5号明細書 7頁	
電子成果品作成費	式	1				

業務費内訳書

薄根川本流(川場湯原)地区災害関連緊急事業測量・
設計業務

明細書

1号明細書

溪間工測量

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	单 価	金 領	摘 要	備 考
溪間工測量 踏査選点 外業 溪流延長0.5km未満	km	0 300			1号代価表 8頁	
溪間工測量 中心線測量 合計 溪流延長0.5km未満	km	0 300			2号代価表 9頁	
溪間工測量 縱断測量 合計 溪流延長0.5km未満	km	0 300			3号代価表 10頁	
溪間工測量 橫断測量 合計 測定間隔20m 橫断測線幅30~80m未満	km	0 300			4号代価表 11頁	
溪間工測量 構造物計画位置横断測量 合計 縮尺1/100~200 橫断延長30~50m未満	横断	1			5号代価表 12頁	
溪間工測量 平面図作成A 内業 縮尺1/1000 延長500m未満	件	1			6号代価表 13頁	
計						

明細書

2号明細書

旅費交通費(基準日額)

明細書

3号明細書

旅費交通費(交通費,宿泊費)

明細書

溪間工設計

4号明細書

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	单 価	金 額	摘 要	備 考
打合せ等 打合せ(業務着手+中間打合せ+成果物納入) 中間打合せ2回	業務	1			7号代価表 14頁	打ち合わせ回数:標準4回
治山ダム(透水型・遮水型)実施設計 設計計画 治山ダム工のみ 複数基補正係数1	基	1			8号代価表 15頁	
治山ダム(透水型・遮水型)実施設計 現地踏査	件	1			9号代価表 16頁	
治山ダム(透水型・遮水型)実施設計 基本事項検討 治山ダム工のみ 複数基補正係数1	基	1			10号代価表 17頁	
治山ダム(透水型・遮水型)実施設計 施設設計 治山ダム工のみ 複数基補正係数1	基	1			11号代価表 18頁	
治山ダム(透水型・遮水型)実施設計 数量計算 治山ダム工のみ 複数基補正係数1	基	1			12号代価表 19頁	
治山ダム(透水型・遮水型)実施設計 照査 治山ダム工のみ 複数基補正係数1	基	1			13号代価表 20頁	
治山ダム(透水型・遮水型)実施設計 設計説明書作成	件	1			14号代価表 21頁	
計						

明細書

5号明細書

旅費交通費

名称・規格	単位	数量		単価		金額	摘要	備考						
計算結果 別添参照	式	1						旅明(設計)1-1						
計算結果 別添参照	式	1						旅明(設計)1-16						
計算結果 別添参照	式	1						旅明(設計)1-19						

代価表

1号代価表

1 km当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 領	摘 要	備 考
測量技師(屋外補正対象)	人	0 600				[1] [2]
測量技師補(屋外補正対象)	人	0 600				[1] [2]
測量補助員(屋外補正対象)	人	1 200				[1] [2]
材料費 [1]	%	5			諸雑費	
器具損料 [2]	%	1 500			諸雑費	
計						
1 km 当り						

代価表

2号代価表

溪間工測量 中心線測量 合計
溪流延長0.5km未満

1 km当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 領	摘 要	備 考
測量技師(屋外補正対象)	人	1 440				
測量技師補(屋外補正対象)	人	1 680				
測量助手(屋外補正対象)	人	3 360				
測量補助員(屋外補正対象)	人	10 080				
測量技師	人	0 840				
測量技師補	人	0 960				
材料費	%	5				対象:直接人件費
機械器具損料	%	1 500				対象:直接人件費
精度管理費	%	10				対象:人件費等+機械器具損料
計						
1 km 当り						

代価表

3号代価表

溪間工測量 縱断測量 合計
溪流延長0.5km未満

1 km当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 領	摘 要	備 考
測量技師補(屋外補正対象)	人	1 560				
測量助手(屋外補正対象)	人	3 120				
測量補助員(屋外補正対象)	人	3 120				
測量技師	人	0 480				
測量技師補	人	0 720				
測量助手	人	1 440				
材料費	%	5				対象:直接人件費
機械器具損料	%	1 500				対象:直接人件費
精度管理費	%	10				対象:人件費等+機械器具損料
計						
1 km 当り						

溪間工測量 橫断測量 合計
測定間隔20m 橫断測線幅30~80m未満

代価表

4号代価表

1 km当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 領	摘 要	備 考
測量技師(屋外補正対象)	人	0 500				
測量技師補(屋外補正対象)	人	2 900				
測量助手(屋外補正対象)	人	2 900				
測量補助員(屋外補正対象)	人	8 700				
測量技師	人	0 300				
測量技師補	人	1 400				
測量助手	人	1 400				
材料費	%	5				対象:直接人件費
機械器具損料	%	1 500				対象:直接人件費
精度管理費	%	10				対象:人件費等+機械器具損料
計						
1 km 当り						

代価表

5号代価表

溪間工測量 構造物計画位置横断測量 合計
縮尺1/100~200 横断延長30~50m未満

1 横断当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	单 価	金 領	摘 要	備 考
測量技師(屋外補正対象)	人	0 250				
測量技師補(屋外補正対象)	人	0 250				
測量助手(屋外補正対象)	人	0 250				
測量補助員(屋外補正対象)	人	0 750				
測量技師	人	0 050				
測量技師補	人	0 210				
測量助手	人	0 210				
材料費	%	5				対象:直接人件費
機械器具損料	%	1 500				対象:直接人件費
精度管理費	%	10				対象:人件費等+機械器具損料
計						
1 横断 当り						

代価表

6号代価表

1 件当たり

打合せ等

打合せ(業務着手+中間打合せ+成果物納入) 中間打合せ2回

代価表

7号代価表

1 業務当たり

代価表

8号代価表

1基当たり

代価表

9号代価表

1 件当たり

代価表

10号代価表

1基当たり

代価表

11号代価表

1基当たり

治山ダム(透水型・遮水型)実施設計 施設設計 治山ダム工のみ 複数基補正係数1

代価表

12号代価表

1基当たり

代価表

13号代価表

1 基当たり

代価表

治山ダム(透水型・遮水型)実施設計 設計説明書作成

14号代価表

1 件当たり

旅費交通費諸元表

【現地作業】に伴う旅費交通費（移動手段はライトバン）
※公共交通機関を使用する場合は、別途計算する。

調査地（都道府県を選択）	群馬県	
積算上の基地 (県庁所在地又は近隣の主要都市とし、旅行の起点は県庁又は市役所等の最寄りの駅又は停留所)	県庁所在地又は近隣の主要都市	旅行の起点 県庁又は市役所等の最寄り駅 又は停留所
	群馬県庁	バス（県庁前）
滞在地又は調査地 : 滞在の場合は調査地最寄りの市町村役場等 : 通勤の場合には調査地	滞在の場合：調査地最寄りの市町村役場等 「川場村役場」	
(通勤、滞在区分判定用) 片道一般道路移動距離 (積算上の基地～調査地) ※複数箇所を同一業務かつ通勤の場合の移動距離は平均値とする。	42.8 km	
(通勤、滞在区分判定用) 片道高速道路等移動距離 (積算上の基地～調査地) ※複数箇所を同一業務かつ通勤の場合の移動距離は平均値とする。	km	
片道一般道路移動距離 (積算上の基地～滞在地又は調査地) ※複数箇所を同一業務かつ通勤の場合の移動距離は平均値とする。	42.8 km	1.4 h (30km/h)
片道高速道路等移動距離 (積算上の基地～滞在地又は調査地) ※複数箇所を同一業務かつ通勤の場合の移動距離は平均値とする。	km	h (80km/h)
片道高速道路等料金 (積算上の基地～滞在地又は調査地) ※高速道路利用料の合計額（片道）を記入する。	(消費税込)	(消費税抜)
高速道路利用区間 ※複数路線ある場合は、各区間を記入する。		
片道移動時間	1 h	
往復移動時間	h	
往復移動日数（基準日額計上日数）	0.5 日	
通勤、滞在区分	滞在して業務を行う	

旅費交通費諸元表

【打合せ】に伴う旅費交通費（移動手段は、ライトバン又は公共交通機関）

※打合せ箇所が2箇所となる場合は、2箇所目も記入する。

1 箇所目		
打合せ場所（都道府県を選択）	群馬県	
移動手段 (ライトバン又は公共交通機関)	公共交通機関	
積算上の基地 (県庁所在地又は近隣の主要都市とし、旅行の起点は、県庁又は市役所等の最寄り駅又は停留所)	県庁所在地又は近隣の主要都市	最寄り駅又は停留所
	群馬県庁	バス(県庁前)
打合せ場所又は滞在地 (滞在の場合は、打合せ場所最寄りの市町村役場等 通勤の場合は、打合せ場所) ※公共交通機関の場合は、最寄り駅までの行程とする。	打合せ場所又は滞在地	【公共交通機関の場合】 最寄り駅又は停留所
	(1箇所目) 利根沼田森林管理署	バス停留所(テラスぬまた市役所前) ※公共交通機関の場合に記入
通勤、滞在区分判定用 【ライトバンの場合】 片道一般道路移動距離 (積算上の基地～打合せ場所)	k m	
通勤、滞在区分判定用 【ライトバンの場合】 片道高速道路等移動距離 (積算上の基地～打合せ場所)	k m	
【ライトバンの場合】 片道一般道路移動距離 (積算上の基地～打合せ場所又は滞在地)	k m	h (30km/h)
【ライトバンの場合】 片道高速道路等移動距離 (積算上の基地～打合せ場所又は滞在地)	k m	h (80km/h)
【ライトバンの場合】 片道高速道路等料金 (積算上の基地～打合せ場所又は滞在地) ※高速道路利用料の合計額(片道)を記入する。	(消費税込)	(消費税抜)
高速道路利用区間 ※複数路線ある場合は、各区間を記入する。		
片道移動時間	h	
往復移動時間	h	
往復移動日数	日	
通勤、滞在区分	-	

旅費交通費諸元表

【打合せ】に伴う旅費交通費（移動手段は、ライトバン又は公共交通機関）

※打合せ箇所が2箇所となる場合は、2箇所目も記入する。

2箇所目		
打合せ場所（都道府県を選択）	群馬県	
移動手段 (ライトバン又は公共交通機関)	公共交通機関	
積算上の基地 (県庁所在地又は近隣の主要都市とし、旅行の起点は、県庁又は市役所等の最寄り駅又は停留所)	県庁所在地又は近隣の主要都市	最寄り駅又は停留所
	群馬県庁	バス(県庁前)
打合せ場所又は滞在地 (滞在の場合は、打合せ場所最寄りの市町村役場等 通勤の場合は、打合せ場所) ※公共交通機関の場合は、最寄り駅までの行程とする。	打合せ場所又は滞在地 (1箇所目) 関東森林管理局	【公共交通機関の場合】 最寄り駅又は停留所 ※公共交通機関の場合に記入
通勤、滞在区分判定用 【ライトバンの場合】 片道一般道路移動距離 (積算上の基地～打合せ場所)	km	
通勤、滞在区分判定用 【ライトバンの場合】 片道高速道路等移動距離 (積算上の基地～打合せ場所)	km	
【ライトバンの場合】 片道一般道路移動距離 (積算上の基地～打合せ場所)	km	h (30km/h)
【ライトバンの場合】 片道高速道路等移動距離 (積算上の基地～打合せ場所)	km	h (80km/h)
【ライトバンの場合】 片道高速道路等料金 (積算上の基地～打合せ場所) ※高速道路利用料の合計額(片道)を記入する。	(消費税込)	(消費税抜)
高速道路利用区間 ※複数路線ある場合は、各区間を記入する。		
片道移動時間		h
往復移動時間		h
往復移動日数		日
通勤、滞在区分	-	

【公共交通機関計算書】

打合せにおいて、公共交通機関を使用する場合の交通費の計算に使用する。

なお、公共交通機関による交通費は、往復割引があるものについては、割引料金を適用した額とする。

打合せ場所及び回数

打合せ 場所番号	打合せ場所
1	利根沼田森林管理署
2	利根沼田森林管理署
3	関東森林管理局
4	利根沼田森林管理署

公共交通機関の利用区間

打合せ 場所番号	打合せ場所が存す る県庁所在地又は 近隣の主要都市の 最寄り駅又は停 留所	打合せ場所の 最寄り駅又は停 留所
1	バス(県庁前)	バス(テラスぬまた市役所前)
2	バス(県庁前)	バス(テラスぬまた市役所前)
3	バス(県庁前)	バス(森林管理局前)
4	バス(県庁前)	バス(テラスぬまた市役所前)

旅客運賃、特別急行料金及び急行料金の計上の区分は、下表のとおりとする。

片道一路線の距離	旅客運賃	特別急行料金	急行料金
$L < 50\text{km}$	○		
$50\text{km} < L \leq 100\text{km}$	○	○	
$100\text{km} \leq L$	○	○	

(注) 1. 片道路線とは、乗り換え毎に算出する。したがって、出発地から現地までの距離が100kmを超えても乗り換え毎の距離が100km未満であれば、特別急行料金は計上できない。

2. 特別急行料金、急行列車、全車指定列車だけしか運行されていない路線については距離に関係なくそれぞれの料金を計上する。

3. 複数の路線がある場合は、最も経済的な経路により計上する。

移動日の算定

	片道1.0日計上	片道0.5日計上
鉄道	$L \geq 400\text{km}$	$400\text{km} > L$
水路	$L \geq 200\text{km}$	$200\text{km} > L$
バス路線	$L \geq 50\text{km}$	$50\text{km} > L$

※滞在で打合せ
を行う

※通勤で打合せ
を行う

④バス運賃

打合せ場所番号		区間		区間距離(km)	普通運賃(円：税抜)
1	①	県庁前	テラスぬまた市役所前	41.9	
	片道計			42	
	往復計			84	
2	①	県庁前	テラスぬまた市役所前	41.9	
	片道計			42	
	往復計			84	
3	①	県庁前	森林管理局前	2.8	
	片道計			3	
	往復計			6	
4	①	県庁前	テラスぬまた市役所前	41.9	
	片道計			42	
	往復計			84	

公共交通機関使用運賃計（往復）

打合せ場所番号	運賃計(円：税抜)
1	
2	
3	
4	

旅单1-1

ライトバン運転経費（外業用）

单 価 表

1 日当たり

(構造)

積算上の基地：群馬県庁（バス（県庁前））～現地：滞在の場合：調査地最寄りの市町村役場等「川場村役場」

片道移動距離：42.8km（一般道路：42.8km、高速道路：0km）

片道移動時間： $42.8\text{km}/30\text{km/h} + 0\text{km}/80\text{km/h} = 1\text{h}$

滞在して業務を行う

測量業務

旅明（測量）1-1

旅費交通費

明細書

(構造)

現地調査

測量主任技師=0日

測量技師=1日

測量技師補=3日

滞在して業務を行う

測量助手=3日

測量補助員=11日

操縦士=0日

整備士=0日

撮影士=0日

測量業務

旅明（測量）1-1

旅費交通費

明細書

(構造)

現地調査

測量主任技師=0日

測量技師=1日

測量技師補=3日

滞在して業務を行う

測量助手=3日

測量補助員=11日

操縦士=0日

整備士=0日

撮影士=0日

測量業務

旅明（測量）1-2

旅費交通費

明細書

(構造)

現地調査

測量主任技師=0日

測量技師=1日

測量技師補=3日

滞在して業務を行う

測量助手=3日

測量補助員=11日

操縱士=0日

整備士=0日

摄影士=0日

測量業務

旅明（測量）1-3

旅費交通費

明細書

(構造)

現地調査

測量主任技師=0日

測量技師=1日

測量技師補=3日

滞在して業務を行う

測量助手=3日

測量補助員=11日

操縱士=0日

整備士=0日

摄影士=0日

測量業務

旅明（測量）1-28

基準日額

(構造)

現地調査

滞在して業務を行う

往復移動日数 : 0.5日

明細書

設計業務

旅明（設計）1-1

旅費交通費

明細書

構造

現地調査

主任技術者=0日

主任何長日

技師長 3名
主任技師=1名

主担当者 1名
滞在して業務を行う

技師（A）=1日 技術員=0日

技師（B）=2日

技師 (C) =1日

設計業務

旅明（設計）1-16

旅費交通費

明細書

(構造)

打合せ（公共交通機関）

主任技師=3回

技能 (A) =3回

技師（A）=3回

通勤により打合せを行う

設計業務

旅明（設計）1-19

旅費交通費

明細書

(構造)

打合せ（公共交通機関）

主任技師=1回

技能 (A) =1回

技師（B）=1回

通勤により打合せを行う

調査条件表 (公表用)

調査名 薄根川本流(川場湯原)地区災害関連緊急事業測量・設計業務

項目	条件
調査箇所	川場湯原
業務区分	渓間工測量
渓流延長(km)	.3km
測量方法	渓間測量(標準)
平面図作成	1/1,000程度
縦断地況等	中
横断地況等	中
横断平均幅(m)	40m
横断測量間隔(m)	20m
構造物横断延長(m)	40m
構造物横断数	1
等高線間隔	10m